



三菱電機

# クーリングユニット [業務用] インバータ圧縮機搭載

## 取扱説明書

もくじ

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 安全のために必ず守ること              | 2  |
| 1. 各部のなまえ                 | 6  |
| 1-1. 各部のなまえ               | 6  |
| 1-1-1. 構成機器               | 6  |
| 1-1-2. リモコン部              | 8  |
| 1-2. 付属品                  | 9  |
| 1-3. 予備品 (AFSV-SN 形の場合のみ) | 9  |
| 2. ご使用前に                  | 10 |
| 2-1. 使用上のお願い              | 10 |
| 3. 使いかた                   | 12 |
| 3-1. 冷却開始                 | 12 |
| 3-2. 霜取運転                 | 13 |
| 3-3. 運転停止                 | 13 |
| 4. お手入れ                   | 14 |
| 5. 定期点検のお願い               | 16 |
| 6. 修理を依頼する前に              | 18 |
| 7. 保安上必要な事項の記載            | 20 |
| 8. 警報システムの設置について          | 21 |
| 9. 据付工事の確認と試運転            | 22 |
| 10. 仕様                    | 23 |
| 11. 保証とアフターサービス           | 24 |
| 11-1. 無償保証期間および範囲         | 24 |
| 11-1-1. 保証できない範囲          | 24 |
| 11-2. 機器予防保全の目安           | 25 |
| 11-3. 消耗部品の交換周期目安         | 25 |
| 11-4. 補修用性能部品の保有期間        | 25 |
| 11-5. 修理について              | 26 |
| 11-6. 移設について              | 26 |
| 11-7. お問い合わせ              | 26 |
| 12. 環境関連の表示               | 27 |
| 12-1. フロン排出抑制法            | 27 |

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

# 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(破裂注意)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項

### 警告

#### 当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

#### 安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

#### ユニットを運転・停止するために電源スイッチやブレーカを入り切りしないこと。

- 火傷・感電・火災のおそれあり。



使用禁止

#### 圧縮機を運転するために電磁接触器の接点可動部を押さないこと。

- 火傷・感電・火災のおそれあり。



使用禁止

#### 特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

#### 揮発性、引火性のあるものを冷蔵庫内に入れないこと。

- 火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

#### ユニットに可燃物を近づけないこと。

- 霜取ヒータなどに触れると、引火・火災のおそれあり。



禁止

**コントローラの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。**

- ◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止 

**ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。**

- ◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止 

**改造はしないこと。**

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止 

**ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用し、針金・銅線で代用しないこと。**

- ◆ 発火・火災のおそれあり。

使用禁止 

**露出している配管や配線に触れないこと。**

- ◆ 火傷・感電のおそれあり。

接触禁止 

**運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。**

- ◆ 火傷・感電のおそれあり。

接触禁止 

**電気部品に水をかけないこと。**

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止 

**ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。**

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止 

**パネルを開けるときのやドレンパンを清掃するときなど、高所作業時は足元に注意すること。**

- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。

足元注意 

**安全装置・保護装置の設定値は変更しないこと。**

- ◆ 設定値を変えると、ユニット破裂・爆発のおそれあり。

爆発注意 

**冷媒回路内に冷媒ガス・油を封入した状態で、封止状態を作らないこと。**

- ◆ 破裂・爆発のおそれあり。

破裂注意 

**掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。**

- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意 

**薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。**

- ◆ 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

感電注意 

**薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。**

- ◆ 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆ 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

感電注意 

**運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。**

- ◆ 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意 

**ユニットに素手で触れないこと。**

- ◆ 高温になるため、素手で触れると火傷のおそれあり。

やけど注意 

**換気をよくすること。**

- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

換気を実行 

**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。**

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行 

**コントローラのカバーを取り付けること。**

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行 

**ユニットのカバーを取り付けること。**

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・火災のおそれあり。

指示を実行 

**端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。**

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行 

**基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。**

- ◆ ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行 

**ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。**

- ◆ ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行 

## ⚠ 注意

### 当社指定の油以外は封入しないこと。

- ・使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。封入油の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。



禁止

### コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

### ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

### 殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- ・変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

### 粉塵が浮遊している場合は、ユニットを使用しないこと。

- ・吸い込みによる故障・発煙のおそれあり。
- ・健康障害のおそれあり。



使用禁止

### 先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ・感電・故障のおそれあり。



使用禁止

### パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ・回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ・高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ・高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

### ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ・ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



使用禁止

### 動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ・保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

### ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ・ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



禁止

### ユニットに手を触れないこと。

- ・霜取ヒータなどに触れると、火傷・けがのおそれあり。



接触禁止

### 部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ・けがのおそれあり。



接触禁止

### 水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- ・水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

### 保護具を身に付けて操作すること。

- ・給油・排油作業は油が飛び出す。触れるとけがのおそれあり。



油注意

### 保護具を身に付けて操作すること。

- ・主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

### 保護具を身に付けて操作すること。

- ・スイッチ〈運転-停止〉をOFFにしても基板の各部や端子台には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

### 保護具を身に付けて操作すること。

- ・各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

### 電気部品を触るときは、保護具を身に付けること。

- ・高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ・高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



感電注意

### 空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ・ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

### 作業するときは保護具を身につけること。

- ・けがのおそれあり。



けが注意

### 薬品消毒する場合、ユニットを停止すること。

- ・ユニット運転により飛散した薬品を浴びると、けがのおそれあり。



指示を実行

### 薬品消毒のあと、換気をし、4～5時間送風運転すること。

- ・ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがのおそれあり。



換気を実行

### ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認すること。

- ・パネルが落下すると、けがのおそれあり。



指示を実行

### ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を実行

### 販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆においが発生するおそれあり。



指示を実行

## 移設・修理をするときに

### 警告

#### 改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

#### 雨天の場合、サービスはしないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

#### 修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

### 注意

#### 基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

#### 点検・修理時は、配管支持部材・断熱材の状態を確認し劣化しているものは補修または交換すること。

- ◆冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。



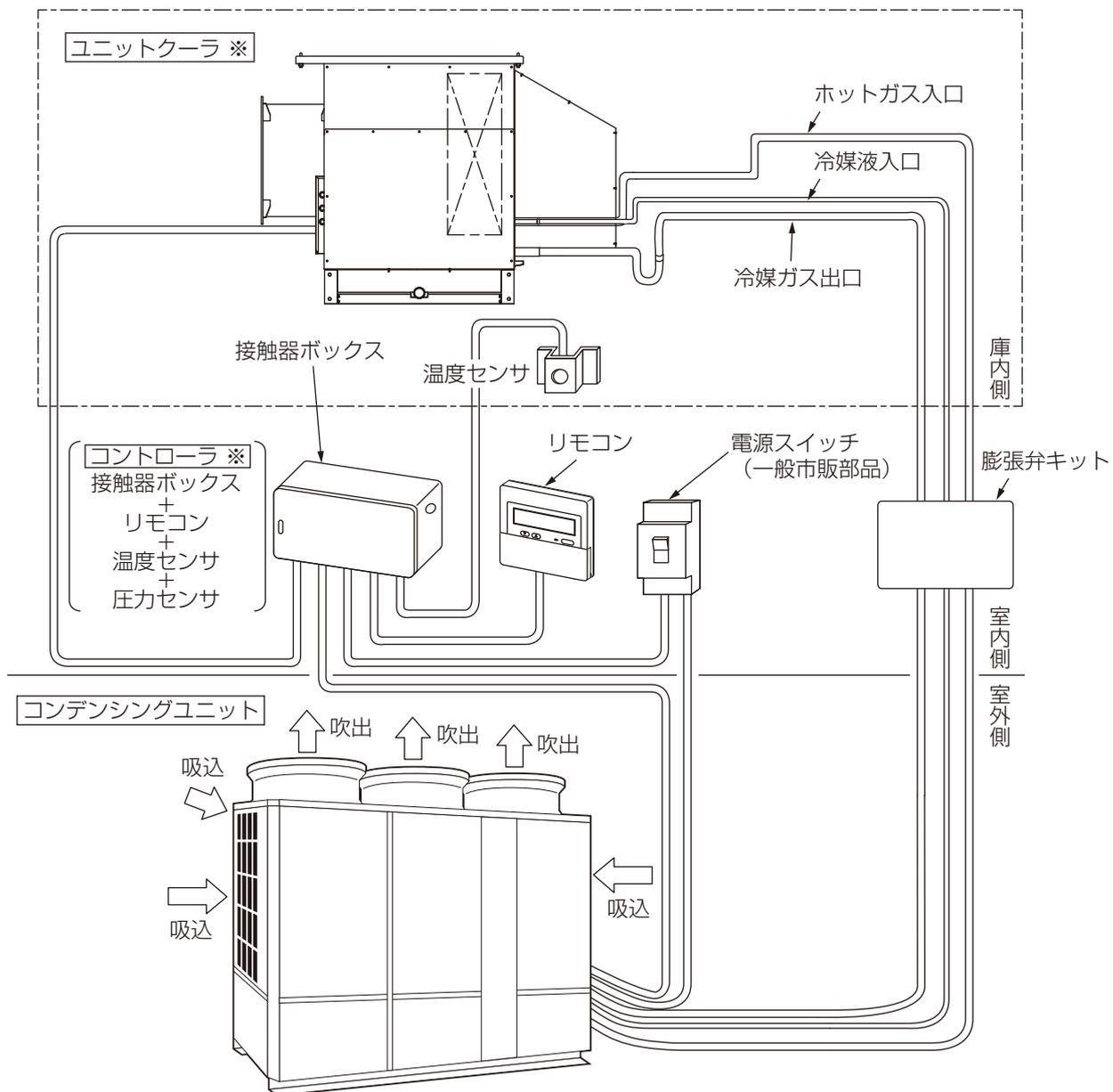
指示を実行

# 1. 各部のなまえ

## 1-1. 各部のなまえ

### 1-1-1. 構成機器

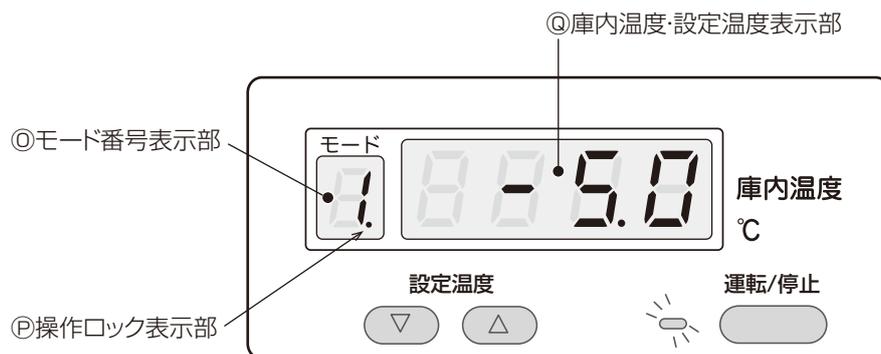
| セット形名             | コンデンシングユニット           | ユニットクーラ              | ハイクオリティコントローラ       |
|-------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|
| AFSV-SN40FGH      | AFSV-SN40H × 1 台      | UCS-N40FGA × 1 台     | RBS-N40GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN50FGH      | AFSV-SN50H × 1 台      | UCS-N50FGA × 1 台     | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN60FGH      | AFSV-SN60H × 1 台      | UCS-N60FGA × 1 台     | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN40FGH-D    | AFSV-SN40H × 1 台      | UCS-N40FGA-D × 1 台   | RBS-N40GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN50FGH-D    | AFSV-SN50H × 1 台      | UCS-N50FGA-D × 1 台   | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN60FGH-D    | AFSV-SN60H × 1 台      | UCS-N60FGA-D × 1 台   | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN40FGH-PD   | AFSV-SN40H × 1 台      | UCS-N40FGA-10 × 1 台  | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN50FGH-PD   | AFSV-SN50H × 1 台      | UCS-N60FGA-10 × 1 台  | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN60FGH-PD   | AFSV-SN60H × 1 台      | UCS-N60FGA-10 × 1 台  | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN50FGH-S1-D | AFSV-SN50H × 1 台      | UCS-N80FGA × 1 台     | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN60FGH-S1-D | AFSV-SN60H × 1 台      | UCS-N80FGA × 1 台     | RBS-N60GRB-HQ × 1 台 |
| AFSV-SN40BGH-S2   | AFSV-SN40H × 1 台      | UCR-N20BGA × 2 台     | RBS-N40GRB-HQ × 2 台 |
| AFSV-SN50BGH-S2   | AFSV-SN50H × 1 台      | UCR-N25BGA × 2 台     | RBS-N40GRB-HQ × 2 台 |
| AFSV-SN60BGH-S2   | AFSV-SN60H × 1 台      | UCR-N25BGA × 2 台     | RBS-N40GRB-HQ × 2 台 |
| AFSV-SN40BGH-S2B  | AFSV-SN40H × 1 台      | UCR-N20BGA-BBN × 2 台 | RBS-N40GRB-HQ × 2 台 |
| AFSV-SN50BGH-S2B  | AFSV-SN50H × 1 台      | UCR-N25BGA-BBN × 2 台 | RBS-N40GRB-HQ × 2 台 |
| AFSV-SN60BGH-S2B  | AFSV-SN60H × 1 台      | UCR-N25BGA-BBN × 2 台 | RBS-N40GRB-HQ × 2 台 |
| AFSV-EN28FGA      | ECOV-EN225C1-HG × 1 台 | UCS-N40FGA-HG × 1 台  | RBS-N30GRA-HQ × 1 台 |



※ AFSV-SN40, 50, 60BGH-S2(B) の場合、2 台必要です。



## [2] リモコン表示部説明



| 項目            | 説明                              |
|---------------|---------------------------------|
| ①モード番号表示部     | [モード切替] ボタンを押す度、モード番号表示が切替わります。 |
| ②操作ロック表示部     | 操作ロック時に表示します。                   |
| ③庫内温度・設定温度表示部 | 庫内温度もしくは設定温度・設定時刻を表示します。        |

## 1-2. 付属品

### ■AFSV-SN\*\*FGH(-S1,-D,-PD), AFSV-EN\*\*FGA(-D)の場合

| No. | 付属品名                    | 個数 |
|-----|-------------------------|----|
| 1   | 膨張弁キット                  | 1  |
| 2   | リモコン                    | 1  |
| 3   | ハイクオリティコントローラ (接触器ボックス) | 1  |
| 4   | 温度センサ (サーミスタ)           | 2  |
| 5   | 圧力センサ                   | 1  |
| 6   | コネクタ※1 (低圧センサ不良時の応急運転用) | 1  |

※1 AFSV-EN形のみ

### ■AFSV-SN\*\*BGH-S2(B)の場合

| No. | 付属品名                    | 個数 |
|-----|-------------------------|----|
| 1   | リモコン                    | 2  |
| 2   | ハイクオリティコントローラ (接触器ボックス) | 2  |
| 3   | 温度センサ (サーミスタ)           | 4  |
| 4   | 圧力センサ                   | 2  |

## 1-3. 予備品 (AFSV-SN 形の場合のみ)

| No. | 品名                   | 個数    |
|-----|----------------------|-------|
| 1   | 金網フィルタ (サクシヨンストレーナ用) | 1     |
| 2   | ろ紙フィルタ (油ストレーナ用)     | 1     |
| 3   | Oリング (油ストレーナ用)       | 大小各 1 |
| 4   | パッキン (サクシヨンストレーナ用)   | 1     |
| 5   | ヒューズ (6A) ※1         | 1     |

※1 コンデンシングユニットのサブボックス板金内に付属しています。予備として使用してください。

## 2. ご使用の前に

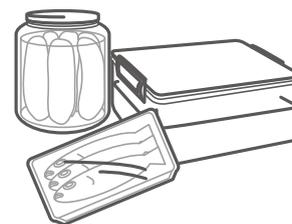
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「据付工事説明書の据付工事後の確認」の事項をお客様自身でご確認ください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

### 2-1. 使用上のお願い

- 1) 設置状態を確認してください。
- リモコンの温度センサは庫内温度を検知する適切な位置にあるか確認してください。

- 2) 食品は密閉してください。

- 食品は密閉容器に入れるか、ラップフィルムで包んでください。他の食品のにおいが移らず、乾燥も防げます。



- 3) 腐食性雰囲気になるものを保存しないでください。

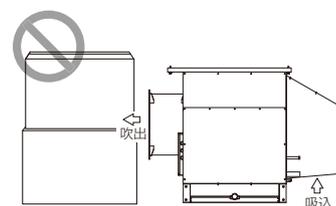
- 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。また、腐敗物があると、アンモニアなどの腐食性ガスが発生します。腐敗物を放置しないでください。密閉されていない場合や腐食性ガスがある場合、ユニットクーラが腐食し故障するおそれがあります。

- 4) 長時間使用しないときは、主電源を切ってください。

- 安全のため電源を切ってください。

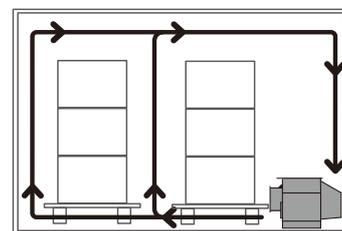
- 5) 吹出口・吸込口をふさがないでください。

- ユニットクーラ・コンデンシングユニットとも風の流をさまたげると冷却効果が低下します。吹出口や吸込口をふさがないでください。



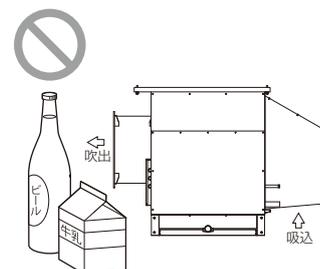
- 6) 冷気の循環をよくしてください。

- 商品は、隙間を空けて積んでください。床にすのこなどを敷くとさらに効果的です。
- ユニットクーラの冷気吸込口や冷気吹出口の前に商品をおかないでください。



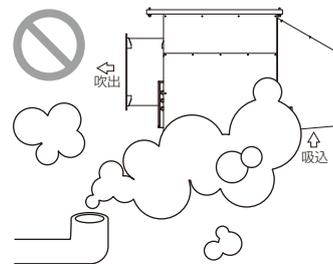
- 7) 冷気吹出口の近くに液体をおかないでください。

- 冷えすぎて凍ることがあります。



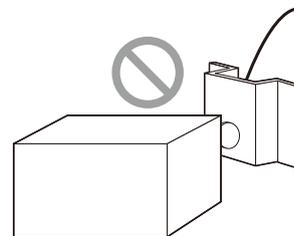
8) 加湿器を冷氣吸入口の近くに置かないでください。

- 加湿器を設ける場合、加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。また湿度は90% RH以下で使用してください。蒸気を直接吸い込んだり、湿度が高い条件で使用しますと送風機が故障するおそれがあります。なお、加湿器を使用する場合は、霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。



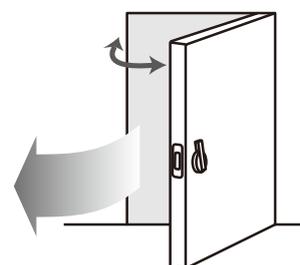
9) 温度センサの周囲には商品を置かないでください。

- 温度センサの前に商品を置くと、適切な庫内温度を検知できません。



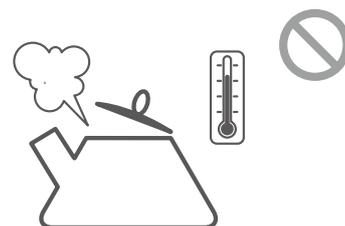
10) 扉の開閉はできるだけ少なくしてください。

- 商品の出し入れは回数を少なく、短時間に行ってください。扉を開けたままにしておくと、暖かい空気が庫内に入り冷えが悪くなります。
- 多量の商品の出し入れなど長時間扉を開けたままにする場合は、[運転/停止] ボタンを「切」にしてください。ユニットクーラの霜付きを防げます。



11) 熱いものは冷ましてから入れてください。

- 熱いまま入ると庫内の温度が上がり、他の商品に悪い影響をあたえます。



12) 扉の直上にユニットクーラを設置しないでください。

- 扉開時の暖かく湿った空気が直接ユニットに吸い込まれ霜付きが早くなります。
- 倉庫の構造上やむを得ない場合は、扉の開閉頻度/時間や外気侵入を少なくする処置を施してください。(エアーカーテンの設置など)

13) 運転スイッチを3分以内で繰り返し操作しないでください。

- 圧縮機に無理がかかり、故障するおそれがあります。
- 運転スイッチを3分以内で操作した場合、圧縮機は運転しません。3分間経過するまで待ってください。

14) 長期間(数日以上)停止するときは、ユニット内部の弁の操作が必要な場合があります。工事店に連絡してください。

15) 高級商品の冷蔵・冷凍用途などに使用する場合、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように警報装置を設けてください。

- ユニットには保護装置が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けています。警報装置の接続を販売店に依頼してください。

16) 血液・ワクチン・医薬品など厳重な温度管理を必要とする用途に使用される場合、販売店に問い合わせてください。

# 3. 使いかた

## 3-1. 冷却開始

### ⚠ 警告

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

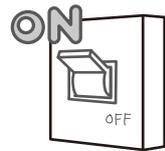


指示を実行

### 手順

#### 1. 主電源を入れる。

- 主電源を入れると約 1 分間リモコンが点滅表示し、その後庫内温度が表示されます。



#### 2. [ 運転/停止 ] ボタンを押す。

- [ 運転/停止 ] ボタンは、誤作動防止のため、2 秒以上押し続けると動作します。
- 庫内温度が表示された直後は、リモコン操作を受け付けないことがあります。数秒経ってから再度操作を行ってください。



#### 3. [ 設定温度 ] ボタンのどちらかを 1 回押す。

- 表示が「設定温度」に切り替わり、現在の設定温度を表示します。



#### 4. 続けて [ 設定温度 ] ボタンを押し、設定したい温度に数値を合わせる。

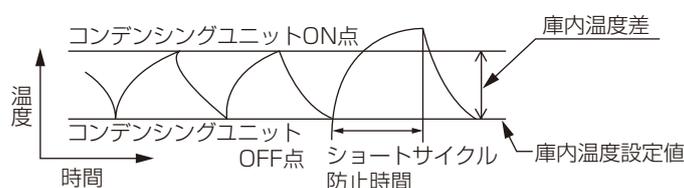
### お願い

- ボタン操作時、以下の表示をする場合、ユニットコントローラにて手元操作禁止の設定を行っています。お買い上げの販売店または専門業者へ相談してください。



### お知らせ

- 庫内温度設定と庫内温度差の関係  
庫内温度の設定値は、ユニットの停止する温度（OFF：切値）を示します。ユニットが運転する温度（ON：入値）は庫内温度差分だけ高くなります。



- ショートサイクル防止機能が付いています。庫内温度差を小さくした場合でも冷蔵庫内の負荷の程度によっては、コンデンシングユニット ON 点を超えることがあります。

5. 庫内が適温になってから、商品を入れる。
- ・ 外気温や冷蔵庫によって適温になる時間は異なります。

## 3-2. 霜取運転

霜取は自動的に行います。“冷却運転”途中で霜取を行う場合は操作パネルを開け**[手動霜取]** ボタンを押してください。商品はそのままでかまいません。

なお、霜取中は表示部に「dF」が表示されます。

- ・ ヒータ霜取の場合、冷却器ファンは霜取中停止します。
- ・ 霜取中（「dF」表示中）は手動霜取を受け付けません。
- ・ 保管する商品の変更・冷凍庫の構造を変更する場合霜取運転の再調整が必要になります。お買い上げの販売店へ相談してください。



## 3-3. 運転停止

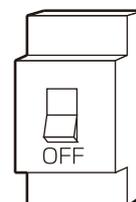
### 手順

1. **[運転/停止]** ボタンを再度押す。
  - ・ **[運転/停止]** ボタンは、誤作動防止のため、2 秒以上押し続けると動作します。
  - ・ 運転/停止ランプが消灯し、しばらくしてユニットは停止します。



### お願い

- ・ 霜取中（「dF」の表示中）は **[運転/停止]** ボタンを押さないでください。熱交換器に根氷が発生し、冷却性能の低下、根氷成長によるクーラの損傷の原因となります。
2. 長期間（数日以上）停止する場合は、主電源を切る。



## 4. お手入れ

### ⚠ 警告

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

### ⚠ 注意

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

作業するときは保護具を身につけること。

- けがのおそれあり。



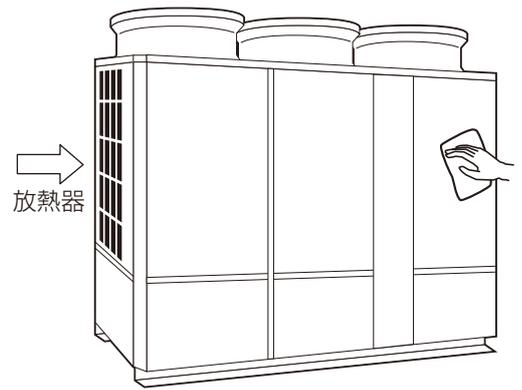
けが注意

- お手入れの前に主電源を切ってください。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めます。使用しないでください。

## [1] コンデンスユニット

### (1) キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭き取ってください。



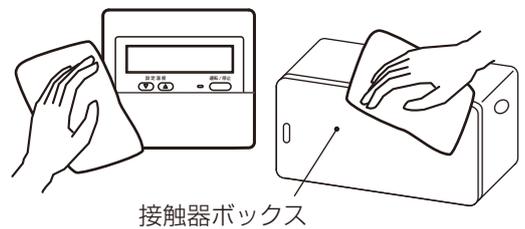
### (2) 放熱器

- 放熱器が汚れますと熱交換が悪くなり、冷却能力が低下しますので定期的な洗浄が必要です。洗浄の際は、販売店に相談してください。

## [2] リモコン・接触器ボックス

### (1) キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。



## 5. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」に連絡してください。

### JRA\* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有料）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトを参照してください。\*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

・ JRA GL-14 について、<http://www.jraia.or.jp/info/gl-14/>

・ 冷媒フロン類取扱技術者制度について、[http://www.jarac.or.jp/business/cfc\\_leak/](http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/)



## 6. 修理を依頼する前に

- サービスをお申しつけ前につぎのことをお調べください。  
以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源スイッチを切ってください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店・指定のサービス店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙））にご連絡ください。

### [1] 故障かな？と思ったら

| 現象  | 原因の確認                                      | 処置方法   |                     |
|---|--|--|---------------------|
| まったく運転しない。                                      | 主電源・ブレーカが切れています。                           | 完全に入っていますか。もう一度入れなおしてみてください。   |                     |
|   | 停電しています。                                   | 復電後自動復帰します。  |                     |
|   | 【運転・停止】ボタンが切になっています。                       | リモコンの【運転・停止】ボタンを再び「入」にしてください。<br>運転／停止ランプが発光していることを確認してください。                                     |                     |
|   | 庫内温度設定値が高くなっています。                          | 設定値を見直してください。  |                     |
|   | ショートサイクル停止中になっています。                        | ひんぱんな発停を防ぐためコンデンシングユニットが停止すると約3分間は再起動しません。<br>約3分間待ってください。（運転スイッチをいったん「切」にし、再運転する場合も約3分間起動しません。） |                     |
| 温度表示部が「E0」、「E1」を表示したとき。※ <sup>1</sup>           | 風通しが悪くなっています。                              | 障害物を取除いてください。  |                     |
| E0 冷却中のコンデンシングユニット異常（保護装置作動）                    | ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっています。 |  |                     |
| E1 霜取中のコンデンシングユニット異常（保護装置作動）                    | コンデンシングユニットの放熱器にゴミが付着しています。                | 放熱器を掃除してください。<br>「4. お手入れ」の項を読んでください。  |                     |
|   | 発熱物がコンデンシングユニットの近くにあります。                   | 発熱物を取除いてください。  |                     |
| よく冷えない。<br>または、温度表示部が「HC」を表示したとき。※ <sup>2</sup> | 扉が開いています。                                  | 扉をしっかり閉めてください。   |                     |
|   | HC 高温警報                                    | 異物などがはさまって隙間があいています。   |                     |
|   |  | 商品の温度が高すぎます。   | 熱いものは冷ましてから入れてください。 |
|   |  | お湯、お茶などが高温状態で入っています。   |                     |
|   |  | 風通しが悪くなっています。  | 障害物を取除いてください。       |
|   |  | ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっています。   |                     |
|   |  | 扉の開閉の回数が多いためです。  | 開閉の回数を減らしてください。     |
|   |  | 発熱物がコンデンシングユニットの近くにあります。   | 発熱物を取除いてください。       |
|   | コンデンシングユニットの放熱器にゴミが付着しています。                | 放熱器を掃除してください。<br>「4. お手入れ」の項を読んでください。  |                     |
| 温度表示部が「dF」を表示したとき                               | 霜取中であり、故障ではありません。                          | 霜取終了後一定時間が経過してから、庫内温度を表示します。   |                     |
| 温度表示部が「HO」、「LO」を表示したとき                          | 温度センサが故障しています。                             | お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）へ連絡してください。  |                     |
| HO 温度センサ短絡                                      |  |  |                     |
| LO 温度センサ断線                                      |  |  |                     |

| 現象  | 原因の確認                                  | 処置方法   |
|---|--|--|
| 温度表示部が「HH」を表示したとき<br>HH   50℃高温警報                             | 庫内温度が50℃以上になっているため、ユニットを停止しています。       | 庫内に発熱物が無いか確認してください。該当しない場合は、お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）へ連絡してください。                                       |
| 温度表示部が「LL」を表示したとき※3<br>LL   庫内温度低下警報                          | 設定温度以下になってもユニットが運転しているため、ユニットを停止しています。 | お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）へ連絡してください。   |
| 温度表示部が「Cd」を表示したとき<br>Cd   保守点検異常                              | コンデンシングユニット側の保守点検が必要です。                | コンデンシングユニット側の基板LED表示内容を確認のうえ、お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）へ連絡してください。                                      |
| 温度表示部が「99」を表示したとき   | 外部接点入力による緊急停止が作動しています。                 | 外部接点の設置場所を点検してください。  |
| モード表示部が「A」を表示したとき   | スケジュール設定に基づいてナイトセットバック運転が行われています。      | 通常冷却運転の開始時刻になれば表示が消えて元の運転に戻ります。  |
| モード表示部が「F」を表示したとき   | 集中コントローラからの指示によりユニットが強制停止しています。        | 集中コントローラからの指示が解除されると表示が消えて元の運転に戻ります。   |
| 温度表示部が「d0」、「d2」、「d3」を表示したとき<br>d0、d2、d3   ユニット間通信 (M-NET) 途絶え | ユニット間通信 (M-NET) が途絶えています。              | お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）へ連絡してください。<br>なお、このときユニットは霜取運転を行いませんので、長時間運転を継続される場合はユニットクーラの霜の付着量を確認してください。 |
| モード表示部が「P」を表示したとき   | コンデンシングユニットからのプレアラームを受信しています。          | コンデンシングユニット側で詳細を確認してください。  |

※ 1 温度表示部が「E0」、「E1」を表示したときのリセット方法

原因を取除いてから運転を開始してください。リモコンの[運転/停止]ボタンをいったん切り、再び入れると運転を再開することができます。

※ 2 温度表示部が「HC」を表示したときのリセット方法

リモコンの[運転/停止]ボタンをいったん切り、再び入れるとリセットできます。

ただし、庫内温度が低下していないと再度表示します。

※ 3 温度表示部に「LL」が表示する条件について

万一の電磁弁（液管）の不具合を考慮して、設定温度以下の状態を60分（変更可）以上継続した場合、リモコンは「LL」（庫内温度低下警報）を表示します。

ただし、外気条件（設定温度より外気温度が低いなど）によっては異常でなくても「LL」表示がでる場合があります。

## [2] 次の場合は故障ではありません

### 1) 羽根の回転が遅い（ユニットクーラ）

ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと、羽根の回転が目視で確認できるくらい遅くなります。

これは霜付が多すぎるために起こりますので、霜取運転の間隔を見直してください。

### 2) 音がする（ユニットクーラ）

ユニットクーラを目詰まり状態で使用されますと、パネルなどからビビリ音が出ることがあります。

これは、目詰まりによって送風機に静圧がかかったことによるものですので、霜取運転の間隔を見直してください。

### 3) 温度表示部に「dF」が点滅表示する（リモコン）

霜取終了後、一定時間は庫内温度を正しく表示できない場合があるため「dF」表示を点滅させています。

点滅表示は15分程度で庫内温度表示に戻ります。

### 4) 表示がちらつく（リモコン）

冷蔵庫の扉の開け閉めの際、静電気によりリモコンの表示がちらつくことがあります。

## 7. 保安上必要な事項の記載

以下高圧ガス保安協会自主基準〈冷凍装置の施設基準（KHKS0302-2(2011)〉に基づき記載します。

- 1) 機器製造者（設備工事業者）の名称・所在地・電話番号：〈最終ページ〉に記載
- 2) 担当サービス会社の名称・所在地・電話番号：〈最終ページ〉に記載
- 3) 使用冷媒の名称：コンデンシングユニットに記載、充てん量：コンデンシングユニットに記載
- 4) 運転および停止の方法
  - 始動準備
    - ① 送風機に異物が詰まったり、通風を妨げるものがないか、およびその他に異常がないか点検すること
    - ② その他は、「3. 使いかた」の項を参照
  - 始動の操作と始動直後のチェック
    - ① 始動は、「3. 使いかた」の項を参照
    - ② 始動直後ユニットの異常振動・異常音の発生、および保護装置が作動しないかチェックのこと
  - 運転操作
    - ① 運転は、「3. 使いかた」の項を参照
  - 停止操作
    - ① 運転停止は、「3. 使いかた」の項を参照
    - ② 異常時の緊急停止は手元開閉器により電源を切ること  
場合によっては、リモコンの停止スイッチを切ってもよい
- 5) 保守の要点
  - ① 安全装置、警報装置の点検、保守、記録は、「4. お手入れ」の項、「5. 定期点検のお願い」の項、「6. 修理を依頼する前に」の項を参照
  - ② 動力装置の点検、電気設備の点検は、「4. お手入れ」の項、「5. 定期点検のお願い」の項、「6. 修理を依頼する前に」の項を参照
  - ③ 長期運転停止上の注意  
ユニット運転は主電源を入れた後、3時間経過してからリモコンの【**運転／停止**】ボタンを入れる
- 6) 故障の原因と対策
  - ① 「6. 修理を依頼する前に」の項を参照
- 7) 定期点検、記録、整備
  - ① 「4. お手入れ」の項、「5. 定期点検のお願い」の項を参照
- 8) その他保安上必要な事項
  - ① 高圧ガス保安法、冷凍保安規則および冷凍保安規則関係例示基準に基き設備を運転すること

※ 販売店が試運転を行う際立ち合ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。

※ 本製品の据付工事は、据付工事の資格所持者が各種法令に基づき実施しております。  
運転手順、安全を確保するための正しい使い方について販売店から説明を受けてください。

---

## 8. 警報システムの設置について

---

保護回路が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。また高温警報の信号を出力する端子も設けていますので、温度管理が容易に対応できます。高級品の貯蔵、医薬品など嚴重な温度管理を必要とする場合は、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように、警報装置の設置や設備上のご配慮（保護サーモ設置等）をお願いします。

## 9. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）の据付工事の資格保持者が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事完了後、次の事項をお客様ご自身でも確認してください。

| 内容  | チェック欄 |
|---|-------|
| • 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。              |       |
| • 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。      |       |
| • 試運転に立ち会いましたか。                             |       |
| • 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。 |       |

---

# 10. 仕様

---

ケーリングユニットの据付工事説明書を参照してください。

# 11. 保証とアフターサービス

## 11-1. 無償保証期間および範囲

- 保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日（据付けた当日を含め）から1年です。
- 無償にて支給するのは故障した部品、または当社が交換を認めたユニットに限ります。（ただし「11-1-1. 保証できない範囲」項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。）  
なお、**ユニット本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害（冷却物、営業補償などの2次補償）の責については、ご容赦ください。当社代理店などと相談の上、損害保険で対処してください。**  
（代理店等と相談して損害保険に加入してください。）

### 11-1-1. 保証できない範囲

1) 下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

| 項目                  | 使用範囲  |   |  |
|---------------------|---|---|--|
| 据付条件                | コンデンシングユニット<br>屋外設置                                       | ユニットクーラ<br>冷蔵庫内設置                                       | リモコンおよび<br>接触器ボックス<br>屋内設置（冷蔵庫外壁面等）                        |
| 本体と冷却器との<br>高低差（※1） | ユニットクーラ 推奨値 AFSV-SN形 7m以内<br>AFSV-EN形 8m以内<br>コンデンシングユニット |   | コンデンシングユニット<br>20m以内<br>ユニットクーラ                            |
| 周囲温度                | コンデンシングユニット凝縮器吸込空気温度                                      |   | リモコンおよび接触器ボックス   |
|                     | AFSV-SN形  | - 15 ~ + 40℃（※2）  | - 10 ~ + 40℃（ただし凍結・結露等なきこと）                                |
|                     | AFSV-EN形  | - 15 ~ + 43℃  |  |
| 庫内温度                | AFSV-SN形  | F級：- 40 ~ - 20℃（2クーラ仕様は- 35 ~ - 20℃）<br>C級：- 20 ~ + 10℃ |  |
|                     | AFSV-EN形  | C & F級：- 40 ~ + 10℃                                     |  |
| 庫内湿度                | 90% RH 以下   |   |  |
| 電源電圧                | 三相 200V 50 / 60Hz   |   | 運転中の電圧 190 ~ 210V<br>始動時の最低電圧 180V 以上<br>相間電圧不平衡率 2%（4V）以内 |
| 冷媒配管長さ              | AFSV-SN形：100 m以下（相当長）                                     |   | AFSV-EN形：70 m以下（相当長）                                       |
| センサのリード線<br>長さ      | 30 m以下  |   |  |
| リモコンケーブル<br>長さ      | 250 m以下   |   |  |

※1 AFSV-EN形でコンデンシングユニットとアシスト機を別々で設置する場合は、据付工事説明書を参照してください。

※2 ユニットクーラの吸込側フード仕様の場合、- 10℃未満は使用範囲外です。

2) 機種選定に不具合がある場合

冷却負荷に対し明らかに過大または過小の能力を持つユニットを選定し、故障にいたったと当社が判断した場合

3) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

4) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合

- 塩害
- 据付け場所不備による事故（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）
- メンテナンス不備（ガス漏れを気付かなかった場合）
- 現地配管工事による事故（ろう付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入）
- 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
- 真空運転による空気、水分を吸い込んだと判断される場合
- アイスタックによる事故（真空引不足）

5) 天災、火災による事故

---

6) 据付工事中に不都合がある場合

- ・ 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- ・ 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

7) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

---

## 11-2. 機器予防保全の目安

本製品の設計標準使用期間は次の内容を守った上で10年です。「11-1-1. 保証できない範囲（24ページ）」の「使用範囲」、「2-1. 使用上のお願い（10ページ）」、「11-3. 消耗部品の交換周期目安（25ページ）」設計標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。なお設計標準使用期間は保証期間ではありません。

---

## 11-3. 消耗部品の交換周期目安

| 部品        | 交換周期目安 |
|-----------|--------|
| 凝縮器ファンモータ | 5年     |
| 冷却器ファンモータ | 10年    |

交換周期は使用方法・環境により前後します。  
性能部品（消耗部品）の供給保証期間は製造中止後10年です。  
なお交換周期目安は保証期間ではありません。

---

## 11-4. 補修用性能部品の保有期間

- ・ 当社は、この製品の補修用性能部品の製造打切後9年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
この基準により、補修用性能部品の調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施いたします。

## 11-5. 修理について

- 修理を依頼されるときは、「[1] 故障かな?と思ったら」の項にしたがってお調べください。(18 ページ参照)
- 不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず元電源を遮断してから、お買い上げの販売店（工事店・指定のサービス店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)）にご連絡ください。
- 保証期間中は、修理に際しまして、保証書をご提示ください。保証書の規程にしたがって、販売店（工事店）が修理させていただきます。
- なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店（工事店・サービス店）へご相談ください。点検・診断のみでも有料となることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金         |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術員を派遣する料金  |

- 必要に応じて据付（接続・調整・取扱説明など）依頼すると有料になることがあります。
- ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

|        |                                   |               |                 |
|--------|-----------------------------------|---------------|-----------------|
| 品名     | コンデンシングユニット                       | ユニットクーラ       | — 定格銘板に記載しています。 |
| 形名     | AFSV-SN60H（例）                     | UCS-N60FGA（例） | — 定格銘板に記載しています。 |
| 製造番号   |                                   |               | — 定格銘板に記載しています。 |
| お買い上げ日 | 保証書発行の年月日：            年    月    日 |               |                 |
| 故障の状況  | 「できるだけ具体的に」                       |               |                 |
| ご住所    | 「付近の目印なども」                        |               |                 |
| お名前    |                                   |               |                 |
| 電話番号   |                                   |               |                 |
| 訪問希望日  |                                   |               |                 |

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 11-6. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご相談してください。

## 11-7. お問い合わせ

- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店・指定のサービス店）かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)）にご相談ください。  
(所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。)

### お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

# 12. 環境関連の表示

## 12-1. フロン排出抑制法

### ⚠ 警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

### ⚠ 注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。指示を実行



ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



コンデensingユニットに表示されている左記のシンボルマークは、クーリングユニットに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを確認していただくための表示です。この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ替えた場合にはコンデensingユニットの<冷媒量記入のお願い>の記入欄に必要事項を記入してください。

|      |           |
|------|-----------|
| 便利メモ | ■設備工事業者   |
|      | 電話番号      |
|      | ■担当サービス会社 |
|      | 電話番号      |

|   |                     |   |   |
|---|---------------------|---|---|
| <b>愛情点検</b>   |                     | ●長年ご使用のクーリングユニットの点検を！   |   |
|  | <b>こんな症状はありませんか</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転音が異常に大きくなる。</li> <li>●ユニットクーラから水が漏れる。</li> <li>●電源が頻繁に落ちる。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul> | <b>ご使用中止</b><br>事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。 |

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

|   |
|---|
| <b>三菱電機冷熱相談センター</b><br>0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)<br>FAX(365日・24時間受付)<br>0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX) |
|---|

# 三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2019年4月作成

WT07861X07